

## 標題

## “操縦装置のメンテナンス”について

対象機種：全機種

最近、就航後10年前後の船で、操縦装置の不具合により、起動・発停が不可能となるケースが報告されています。

調査結果：ピン・ブッシュ等の摩耗

バルブのパッキンの劣化による漏れ

ボルトの緩みによる機器の振動

電子機器などの劣化

などが原因となっています。

従って、就航後10年前後を経過した船においては、一度総合的な点検・補修・調整をされることを推奨いたします。

操縦装置のメンテナンスをされる場合には、当社にご用命いただければ、製造メーカーとして次のようなメリットが活かされ、総合的にメンテナンスさせていただけるものと確信しております。

- 1) 空気・電気・ガバナー・機械関係を一括した、システマテックなメンテナンスが可能
- 2) 部品サービスと技術サービスの両方に対応が可能で、コストメリットが出せる。

## 日立造船ディーゼルサービス株式会社

### ■ 連絡先

|          |                   |                   |                   |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 東京営業     | TEL.(03)3215-1722 | FAX.(03)3217-8588 | TLX.222-2156      |
| 大阪営業     | TEL.(06)562-3411  | FAX.(06)562-2900  | TLX.524-2101      |
| 因島事業所    | TEL.(08452)2-5491 | FAX.(08452)2-8416 | TLX.6499-91       |
| 技術サービス部  | TEL.(06)562-3437  | FAX.(06)562-4300  | TLX.524-2101      |
| シンガポール支店 | TEL.65-863-1490   | FAX.65-861-7579   | TLX.HZSIN RS21906 |